

第54回 湘南科学史懇話会

(2011年10月29日(土)、午後2時30分～5時30分、藤沢産業センター)

出版人としての37年の夢：書籍の過去、現在、未来

講師 竹中英俊さん (東京大学出版会常務理事・編集局長)

●趣旨

職業としての出版に関わり、満37年になります。その37年間に経験した、「天才と狂人のあいだ」というべき著者の姿をエピソードを入れながら、実名・仮名で紹介し、具体的な出版の現場をお話します。そして、このように人間を狂わせる書物の歴史を、現存する世界最古の活字本である『直指』(朝鮮朝1377年)の複製ほか、いくつかの書物をご覧いただきながら紹介します。その上で、私が心がけた、出版する＝公共することのダイナミックな醍醐味をお伝えしたい。さらに、電子出版協奏曲が演奏される現在の中に、書籍の未来への可能性を見出し、「普通の人」が著者として世界に立つことのできる希望を皆さんと共有することにつなげたいと願っています。(講師記)

目次：

はじめに：自己紹介

1. 私の愛した4人の「天才と狂人の間」
2. 活字の発明はグーテンベルクではない：マインツの博物館
3. 現存する世界最古の活字本は『直指』(朝鮮朝1377年)：清州の博物館
4. 日本の活字文化は豊臣秀吉の東アジア侵略に由来する：古活字本
5. 福澤諭吉は日本の近代出版の基礎を作った：「版權」
6. 小学校の教科書は『学問のすゝめ』をめぐるエピソード：近代活字本
7. 大学出版部に関わった私の幸せな37年：活字の消滅
8. 「本」が終焉した時代：固体から液体へ、さらに気体へ
9. 電子出版協奏曲：未来への可能性

おわりに：「天才と狂人のあいだ」という著者が消え「普通の人」の時代へ

●講師の自己紹介

1952年宮城県生まれ。早稲田大学を1975年に卒業。財団法人東京大学出版会には卒業以前の1974年に就職する。2011年9月現在は、東京大学出版会編集局長として編集全体を統轄する立場にあり、また常務理事として東大出版会全体の運営に責任を持つ。

編集者としては「横断媒介」をキー概念として、人と人とを結ぶ出版の基点に立った編集企画を目指した。単行本は省略し、関わったシリーズ企画について整理すると以下のようなになる。

■ 1980年代—：学派を横断媒介する政治学の編集出版

『現代政治学叢書』全20巻（1988—2012 予定）

『講座国際政治』全5巻(1989)

『行政学叢書』全12巻（2006—）

『国際政治学講座』全4巻（2004—）

■ 1990年代—：専門を横断媒介する地域研究の編集出版

『東アジアの国家と社会』全6巻(1992—93)

『講座現代アジア』全4巻（1994）

『中東イスラム世界』全9巻(1995—98)

『現代中国の構造変動』全8巻(2000—01)

『日英交流史』全5巻（2000—01）

『現代南アジア』全6巻（2002—03）

『イスラーム地域研究叢書』全8巻（2003—05）

『アメリカ文化史』全5巻（2005—06）

■ 2000年代—：学問を横断媒介する社会科学・公共哲学の編集出版

『社会科学の理論とモデル』全12巻（2000—10）

『公共哲学』全20巻(2001—06)

『シリーズ物語り論』全3巻（2007）

『公共する人間』全5巻（2010-11）

■ 2000年代—：時代を横断媒介する復刊・新装版の編集出版

『新装版 日米関係史：開戦に至る十年』全4巻（2000）

『近代日本の思想家』全11巻（2007—08）

『日本政党史論』全7巻（2011）

●日時 2011年10月29日（土）2時30分～5時30分

●会場 藤沢産業センター（湘南NDビル）8階 ミーティングルーム3

〒252-0052 藤沢市藤沢109番地（湘南NDビル7階）

電話 0466-21-3811 FAX 0466-21-3800JR・小田急藤沢駅（北口）徒歩2分

<http://www.cityfujisawa.ne.jp/center.html>

●参加費 1000円

●連絡先 猪野 修治（INO SHUJI）湘南科学史懇話会・代表

〒242-0023 神奈川県大和市渋谷 3-4-1 TEL&FAX：046-269-8210

email：shujiino@js6.so-net.ne.jp